

平成最後の「昭和の日」に昭和村を満喫

平成時代最後となる「昭和の日」を記念したイベントが4月29日、道の駅「あぐりーむ昭和」で催されました。このイベントは、村の名前と同じ祝日を祝い、村をPRしようと毎年開催されています。

今年も、村ふるさと大使でタレントのなべやかん氏が進行役として登場。軽妙なトークで会場を盛り上げたほか、同大使でタレントのけーすけ氏の見事なバルーンアートや、同大使で芸人の近藤六氏の水晶玉を使った高難度のジャグリングなどが披露されました。

また、迫力の生越太鼓や、村内3保育園の年長児たちによる元気がかわいらしい歌声で会場の盛り上がりは最高潮に。贅沢で盛りだくさんのステージとなりました。

このほか、今年も「からむし織りの里」として有名な福島県の昭和村から、地域おこし協力隊の方々が駆けつけ、ともに「昭和村」をPRしていました。

イベントでは、今年も赤城高原農業観光協会による迫力ある餅つき・いちご大福が人気を博しました。恒例の餅投げも大盛況だったほか、お手玉やけん玉、竹馬にベーゴマなど昭和時代の遊びを体験するコーナーも設けられ、子供たちの笑顔があふれていました。

第13回「昭和の日」記念イベント開催



会場を盛り上げた、なべやかん氏(左)と近藤六氏



恒例となった楽しい餅つき



大盛況だった餅投げ



元気に歌った第一・第三・子育て保育園の園児たち

第9回「やさしい王国昭和村」 フォトコンテスト表彰式



グランプリに輝いた諸田美沙紀さん(右)と
ジュニア最優秀賞の渡辺匠さん



入賞作品は会場に展示



特別審査員の今井隆一さん

村公民館では、第9回「やさしい王国昭和村」フォトコンテストの表彰式が盛大に開催されました。応募総数521点の中から、村長賞に選ばれた諸田美沙紀さん(森下中)や渡辺匠さん(吹張ら、一般・ポスター・ジュニア)の部門で入賞した受賞者にそれぞれ賞状と記念品が手渡されました。

表彰式終了後には、特別審査員で写真家の今井隆一さんによる講評が行われたほか、公民館には3部門の入賞作品70点が展示され、来場者の目を楽しませていました。



イベント開始を告げる生越太鼓



けいすけ氏のバルーンアート



「緑の募金」のお礼に村長から
ブルーベリーの木をプレゼント



昭和の遊び・お手玉を体験



福島県の昭和村が登場

